

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	救急・周産期医療ネットワーク構築実証事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度限り		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長：佐久間 敦	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	救急搬送患者の円滑な受入体制の確保を図るため、都道府県に整備されている救急医療情報システムが十分に活用されるよう、厚生労働省・経済産業省が共催した「平成20年度 救急患者の医療機関への受け入れを支援する情報活用等に関する研究会」において、「共通業務支援機能」としてまとめられた11項目の機能強化項目のうち、引き続き検証が必要とされた6項目について実証を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	救急医療情報システムと周産期医療情報システムの連携や利便性の向上等につながる機能強化項目について、実際に救急医療情報システムを導入している都道府県の協力のもと、システム改修等(機能強化)を行い、その効果を検証し、結果報告書を作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算		100			
		繰越し等		▲8	8		
		計		92	8		
	執行額		92	8			
	執行率(%)		100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	実証結果報告書の作成	成果実績				報告書作成	
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	機能強化項目実証実施数		活動実績(当初見込み)		11		-
単位当たりコスト	100,000千円		算出根拠	当該事業の予算額			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-	-			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 ・ 状況 ・ 予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かすことのできないものである。 救急医療の充実を図っていくためにも、国の施策として実施すべき事業であった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金 の 流れ 、 費目 ・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 委託費については、公共調達委員会の審査を経て、企画競争で委託先を決定している。 当該事業は22年度限りの経費である 事業実施後の実績報告書において、費用・使途が事業目的に即したものであるか確認を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績 、 成果 実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 11の共通業務支援機能の実証実験が行われた。 23年度より「救急周産期医療情報システム機能強化事業」を予算計上し、システムの機能強化を支援している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	-		
	-		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0836

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
8百万円



【一般競争】

A(株)システム環境研究所
8百万円



【委託(随意契

B.(株)NTTデータ
6百万円

【事業概要】

隣接地域で医療機関が検索できる標準的なシステムを検討してきたところであり、当該システムの課題検討及び機能検証の実施。

【事業概要】

システムの設計構築

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)システム環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	ネットワーク構築に係る委託費	6.0			
人件費	会発に係る人件費	0.5			
旅費	事務局旅費及び委員旅費	0.5			
諸謝金	実証事業に係る委員謝金	0.2			
その他	消耗品費・印刷製本費他	0.8			
計		8.0	計		0
B.(株)NTTデータ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	ネットワーク構築に係る委託費	6.0			
計		6.0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)システ環境研究所	隣接地域で医療機関が検索できる標準的なシステム構築実証事業	8	1	100%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NTTデータ	隣接地域で医療機関が検索できる標準的なシステム構築実証事業	6		